

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	1 介護サービスの種類と目的 2 必要な資格とその役割			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	2	2		1 介護とは 2 介護サービスの種類と仕事内容 3 グループディスカッション
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4		1 介護の資格とキャリアシステムの理解 2 介護保険サービスの事例研究をする 3 グループディスカッション
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2 - 2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(2) 介護に於ける尊厳の保持、自立支援			
指導目標	人権や尊厳を守る重要性とその背景となる仕組みを理解し 支援を必要とする人へのあり方を理解する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える 介護	4	4		1 人権と尊厳の保持 2 QOL とノーマライゼーションの考え方 3 虐待防止と個人を守る制度 4 事例研究
② 自立に向けた介護	3	3		1 事例紹介を含めた自立支援のあり方 2 介護予防のあり方 3 グループディスカッション
③ 人権啓発に係る 基礎知識	2	2		1 人権について 2 人権への取組について 3 身近な人権のこと
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2 - 2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	連携の中で各々の専門性、役割を理解し、自身の専門性を最大限に発揮し、多職種の理解と連携を指導する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割専門性と多職種との連携	2	2		1 介護環境の特徴の理解 2 介護の専門性と介護に関わる職種 3 事例研究をする
②介護職の職業倫理	1.5	1.5		1 介護従事者の職業倫理 2 事例研究をする
③介護に於ける安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1.5		1 介護労働に於ける安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策 2 事例研究をする
④介護職の安全	1	1		1 介護職の健康管理(こころとからだ) 2 事例研究をする
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(4) 介護、福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	高齢者の自立を支えるためのしくみやサービスの創設又財政的な背景から行政の役割、利用、サービスの流れを指導する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	4	4		1 介護保険制度創設の背景と目的 2 介護保険制度の動向としくみ 3 介護サービスの分類と種類及びサービス施設 4 保険給付以外の事業 5 グループディスカッション
②医療との連携と リハビリテーション	1	1		1 介護に於ける医療と福祉の連携 2 介護職と医療行為 3 リハビリテーション 4 グループディスカッション
③障がい者の総合支援制度 及びその他の制度	4	4		1 障がい者自立支援制度の背景と基本的構造 2 障がい者自立支援制度のしくみと運営の現状 3 個人の権利を守るその他の制度 4 グループディスカッション
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(5) 介護に於けるコミュニケーション技術			
指導目標	コミュニケーションの意義、目的、役割から基本技術、利用者や家族、障がいのある人とのコミュニケーションの実際について学び、コミュニケーション能力を高め人間関係に役立てる			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護に於ける コミュニケーション	4	4		1 介護に於けるコミュニケーションの意義、目的、役割 2 コミュニケーションの技法 3 道具を用いたコミュニケーション 4 利用者、家族とのコミュニケーション 5 利用者の状況、状態に応じたコミュニケーションの実際 6 グループディスカッション
②介護に於けるチームの コミュニケーション	2	2		1 記録による情報の共有化 2 介護サービスに於ける報告、連絡、相談 3 コミュニケーションをうながす環境 4 グループディスカッション
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	高齢者ごとに個人差はあるが、一般的視点から、老化により高齢者のこころとからだがどのように変化し、どのような状態になるかを学習する。老化の理解を通じて高齢者の介護に於ける基本的留意点を理解する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	3		1 老化に伴う心身の変化 2 老化に伴う心身の変化と日常生活 3 グループディスカッション
②高齢者と健康	3	3		1 高齢者と健康 2 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 3 グループディスカッション
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2 - 2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	認知症の高齢者介護では残存能力、意欲に注目し、共感的姿勢のケア、認知症の診断評価法また障がいの状態や原因となる疾患、コミュニケーションの仕方、家族への支援を学ぶ			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	1	1		1 認知症ケアの理念
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		1 認知症の概念 2 認知症による障がい 3 健康管理 4 グループディスカッション
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	2		1 中核症状 2 周辺症状 3 認知症の利用者への対応 4 グループディスカッション
④家族への支援	1	1		1 家族への支援 2 事例研究
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(8) 障がいへの理解			
指導目標	障がいの概念、制度、仕組み、法律を学び、障がいに関する基礎的な理解、障がいの疾患、症状、留意点又家族の障がい受容、支援の留意点を学ぶ			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	1	1		1 障がいの概念 2 ICF の考え方 3 障がい者福祉の基本理念 4 事例研究
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴 かかわり支援等の基礎的知識	1.5	1.5		1 視覚障がい 2 聴覚、平衡機能障がい 3 音声、言語、咀嚼機能障がい 4 肢体不自由 5 内部障がい 6 障がいの受容 7 知的障がい、精神障がい 8 高次脳機能障がい 9 発達障がい 10 事例研究
③家族の心理 かかわり支援の理解	0.5	0.5		1 家族の心理 2 家族への支援 3 事例研究
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号

商号又は名称：株式会社万里

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護の理念、法的根拠、利用者主体の介護尊厳を守る介護、こころとからだの仕組みを理解し利用者を一体的にとらえる力を養う。家事サービスの留意点、住環境改善に於ける福祉具の活用、整容の為の支援、移動移乗の意義、自立に向けた食事介助、清拭部分浴支援、排泄介助を学ぶ			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護の基本的な考え方	2	2		1 理論と法的根拠に基づく介護
②介護に関するこころの しくみの基礎的理解	5	5		1 学習と記憶の基礎知識 2 感情と意欲の基礎知識 3 自己概念と生きがい 4 老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因
③介護に関するからだの しくみの基礎的理解	5	5		1 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 2 骨、関節、筋に関する基礎知識 3 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 4 自律神経と内部器官に関する基礎知識 5 こころとからだを一体的にとらえる
④生活と家事	6	6		1 家事と生活の理解 2 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 3 事例研究
⑤快適な居住環境整備と介護	6	6		1 快適な居住環境に関する基礎知識 2 高齢者、障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 3 事例研究
(合計時間数)				

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2 - 2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号

商号又は名称：株式会社万里

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標				
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		1 整容に関する基礎知識 2 整容の支援技術 3 演習
⑦移動移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5		1 移動移乗に関する基礎知識 2 様々な移乗移動に関する用具とその活用方法 3 介護職員にとっての負担の少ない移動移乗の支援方法 4 移動と社会参加の留意点と支援 5 演習
⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		1 食事に関する基礎知識 2 食事環境の整備、食事に関連した用具食器の活用方法と食事携帯とからだのしくみ 3 楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 4 食事と社会参加の留意点と支援 5 演習
⑨入浴生活保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		1 入浴、清潔保持に関する基礎知識 2 様々な入浴用具と整容用具の活用方法 3 様々な入浴清潔を保つための方法 4 楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 5 演習
⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		1 排泄に関する基礎知識 2 様々な排泄環境整備と排泄用具の活用方法 3 爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 4 演習
(合計時間数)				

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号

商号又は名称：株式会社万里

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標				
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		1 睡眠に関する基礎知識 2 様々な睡眠環境と用具の活用方法 3 快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 4 演習
⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	6	6		1 終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ 2 「死」に向き合うこころの理解 3 苦痛の少ない死への支援 4 演習
⑬介護過程の基礎的理解	6	6		1 介護過程の展開 2 演習
⑭総合生活支援技術演習	5	5		1 事例1 Yさん 80歳 女性 要介護4 2 事例2 Oさん 88歳 女性 要介護2 3 事例3 Aさん 81歳 女性 要介護1 4 事例4 Kさん 88歳 女性 要介護5 以上事例研究をする
(合計時間数)	75	75		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2 - 2)

平成 28 年 7 月 20 日現在

## シラバス

指定番号 \_\_\_\_\_

商号又は名称： \_\_\_\_\_ 株式会社万里 \_\_\_\_\_

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
	初任者研修の全過程を振り返り研修で習得したことについて再確認する			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	3	3		振り返り研修(含む事例研究)
②就業への備えと研修 修了後に於ける事例	1	1		1 継続的に学ぶこと 2 事例について、OFFJT,,OJT 研修をする
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。